

健康なくらしと 応用物理

応用物理が拓くハイクオリティーオブライフ

未来の医療、健康産業につながる新たな、かつ高度な技術課題の発見を目指し、医療現場、およびイノベーションの専門家に講演をお願いしました。また、5感に関わる新たな技術の具体例として、味覚、嗅覚、視覚に関する最先端の研究を発表していただき、応用物理の可能性について議論してもらいます。

入場無料

3月16日(木)

13:00~17:55
パシフィコ横浜 メインホール



末松 誠
(AMED)



宮原 諄二
(イノベーションファクター研究会)



都甲 潔
(九州大学)



吉川 元起
(NIMS)



大澤 孝治
(ニデック)



新藤 幹雄
(タニタ)

プログラム

趣旨説明

13:00~13:10 納谷 昌之 (富士フイルム株式会社)

第1部 医療、健康関連研究に対する全体的な状況

13:10~13:55 末松 誠 (国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED))
「AMEDのミッション：基礎から臨床、臨床から基礎へ」

13:55~14:40 宮原 諄二 (イノベーションファクター研究会)
「明かりが社会を変えたこと」

第2部 第17回応用物理学会業績賞(研究業績)受賞記念講演

14:50~15:35 都甲 潔 (九州大学)
「生体を模倣した味覚・嗅覚センサーの先駆的研究と実用化」

第3部 5感とライフサイエンスと応用物理

15:45~16:25 吉川 元起 (国立研究開発法人物質・材料研究機構 (NIMS))
「嗅覚IoTセンサシステムに向けた新センサ (MSS・AMA) の総合的研究開発」

16:25~17:05 大澤 孝治 (ニデック株式会社)
「人工網膜システムの開発」

17:05~17:45 新藤 幹雄 (株式会社タニタ)
「日々の健康を支える技術」

まとめ

17:45~17:55 西川 恒一 (株式会社豊田中央研究所)

